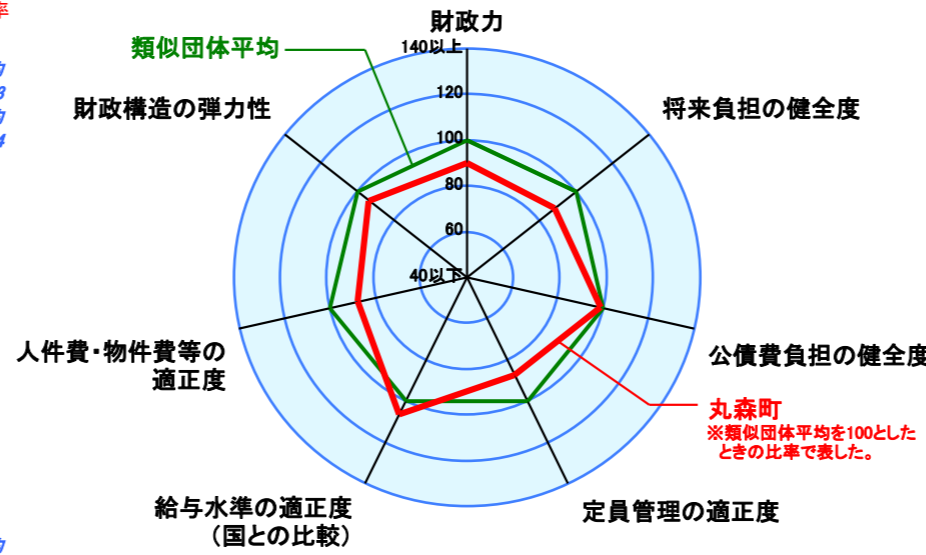
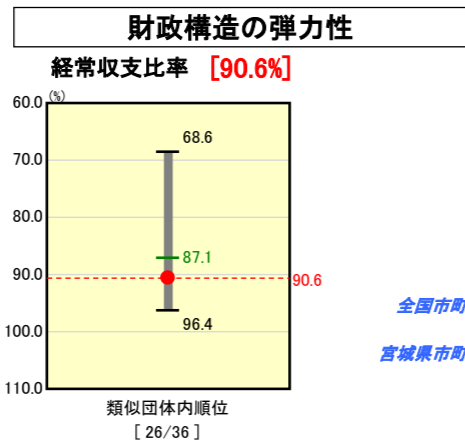
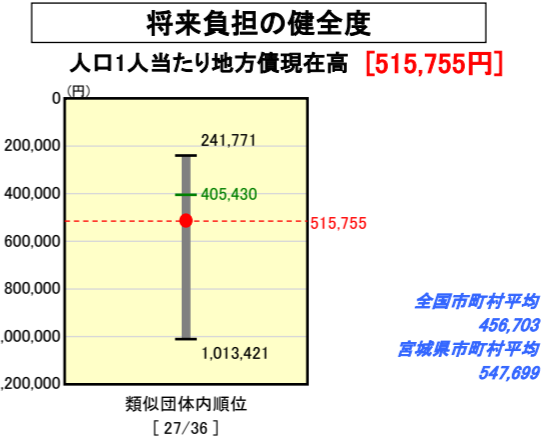
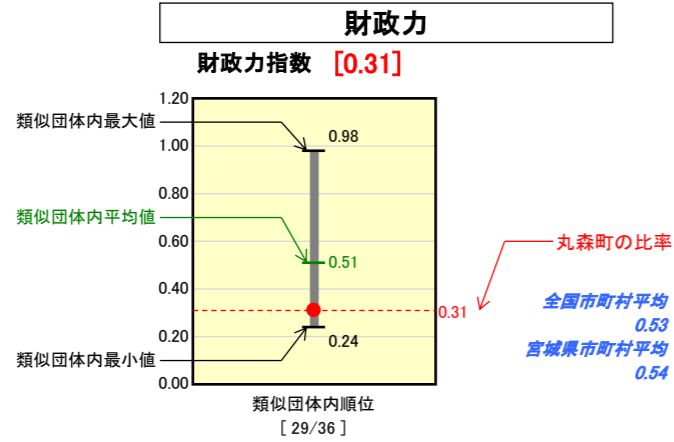


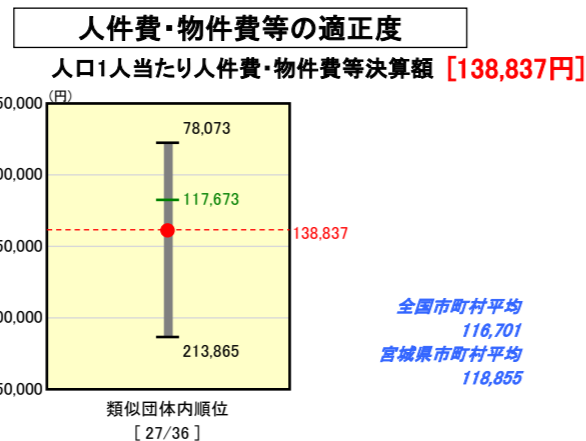
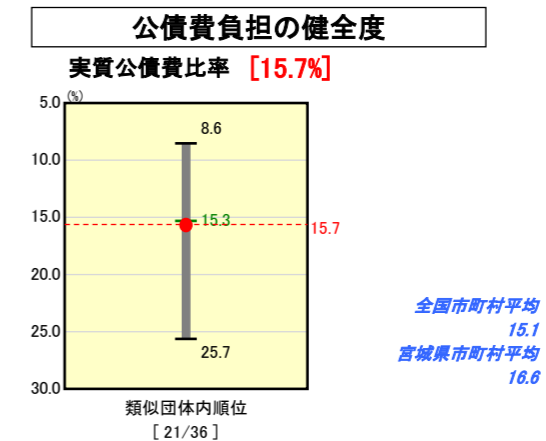
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 丸森町

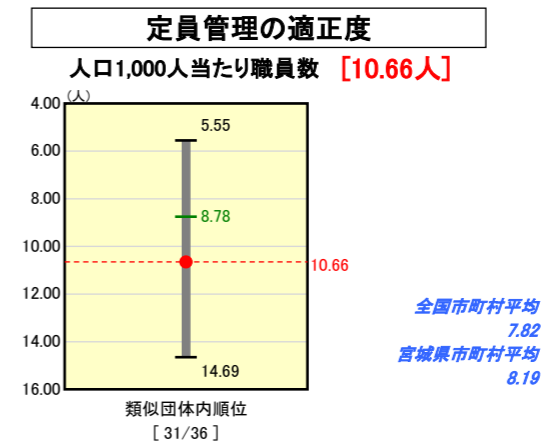
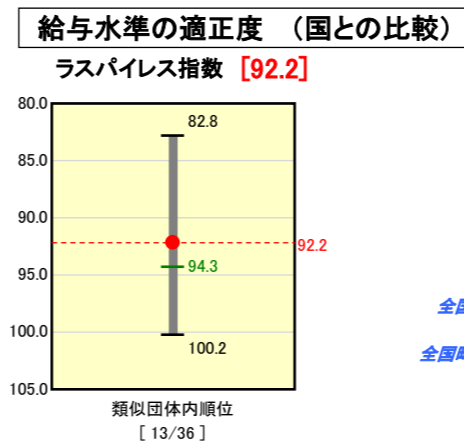
人口	16,793 人(H19.3.31現在)
面積	273.34 km ²
歳入総額	7,469,938 千円
歳出総額	7,274,807 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

■財政力指数

・人口の減少や高齢化率の上昇に加え、町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、類似団体平均を0.2下回っている。行政改革推進班を設置して行政改革を推進し、行政の効率化・財政の健全化を図る。

■経常収支比率

・行政改革の推進により、人件費(前年比△0.3%)、物件費(前年比△0.3%)共に改善されたが、繰出金(前年比+1.9%)、扶助費(前年比+0.3%)、補助費等(前年比+0.3%)の比率の悪化により、全体では前年比+1.4%となった。集中改革プランに従い、一般会計のみならず公営企業会計についても経費削減に努め、繰出金の削減等を図る。

■人口1人当たり人件費・物件費当決算額

・町内の各地域に公民館・小中学校等が広く点在しているため、効率的な運営が難しい状況にある。類似団体平均を上回っているものの、行政改革の推進により前年比△1.3と改善されてきており、今後とも集中改革プランに従い経費削減に努める。

■ラスパイレ指数

・定員適正化計画の見直し、給与構造改革の実施等により、類似団体平均を下回っている。

■人口1人当たり地方債現在高

・今後も道路整備を始め、コミュニティーセンター整備や学校施設の大規模改修等の地方債発行が見込まれている。地方債現在高は年々減少してきているが、投資事業を重点化し、起債抑制を図る。

■実質公債費比率

・類似団体平均を0.4%上回っている。公営企業への繰出金(地方債の償還に充てられたもの)等によるが、過去の大型事業債の償還が完了していくことから、次第に減少していく見込みである。

■人口1,000人当たり職員数

・町内の各地域に公民館・小中学校等が広く点在しており、職員削減が難しい状況にあるが、定員適正化計画に基づき職員数の適正化を図っており、平成19年度から22年度までに20名の削減を見込んでいる。